

(首欠)

(第一紙) T17p745b19~

- 1 智杵破邪山 始相纏縛
- 2 鹿苑至雙林 代弘真教
- 3 本緣行化已 智寂无生
- 4 摠敬三寶尊 因能普濟
- 5 死迷愚鎮沉溺 離至菩提
- 6 者皆歸死 容顏盡變衰 强 无能免斯
- 7 妙高山 劫盡皆散壞 大 底 亦復皆枯竭
- 8 及日月 時至皆歸盡 未 不被无常吞
- 9 非想處 下至轉輪王 七寶 千子常圍
- 10 壽命盡 須臾不暫停 還漂 隨緣受衆苦
- 11 三界内 猶如汲井輪 亦如 吐絲還自縛
- 12 諸世尊 獨覺聲聞衆 尚 身 何況諸凡夫
- 13 及妻子 兄弟并眷属 目觀 云何不愁歎

(第二紙) T17p745c11~

- 1 故勸諸人 諦聽真實法 共捨 處 當行不死門
- 2 教如甘露 除熱得清涼 一心應善 能滅諸煩惱
- 3 是我聞一時薄伽梵在室羅伐城逝多林
- 4 給孤獨園尔時佛告諸苾芻有三種法(才十念) 諸
- 5 世間是不可愛是不光澤是不可念是不稱
- 6 意何者為三謂老病死汝諸苾芻此老病死
- 7 (才十念) 諸世間實不可愛實不光澤實不可念實
- 8 不稱意若老病死世間无者如来應正等覺
- 9 不出(才十念) 世為諸衆生説所證法及調伏事是
- 10 故應知此老病死(才十念) 諸世間是不可愛是不
- 11 光澤是不可念是不稱意由此三事如来應
- 12 正等覺出現(才十念) 世為諸衆生説所證法及調
- 13 伏事尔時世尊重説頌曰

1 摠總【大】 大正藏に校注なし。
 2 散壞||壞散【大】
 3 處||處【大】 大正藏に校注なし。
 4 暫||暫【大】 大正藏に校注なし。
 5 縛||纏【大】
 6 諸|| (才十念)【大】 大正藏に校注なし。
 7 處||處【大】 大正藏に校注なし。
 8 教||法【大】

- 14 外事¹⁴ 莊采¹⁴ 咸歸壞 內身衰變亦同然
- 15 唯有勝法不滅亡 諸有智人應善察
- 16 此老病死皆共戀 形儀醜惡極可厭
- 17 少年容貌¹⁷ 暫¹⁷時住 不久咸悉見枯羸
- 18 假使壽命滿百年 終歸不免无常逼
- 19 老病死苦常隨逐 恒與衆生作無利
- 20 尔時世尊說是經已諸苾芻衆天龍藥叉
- 21 健達²¹ 婆阿蘇羅等皆大歡喜信受奉行
- 22 常求諸欲境 不行(才十令) 善事 云何保形命 不見死來侵
- 23 命根氣欲盡 支節悉分離 衆苦與死俱 此時徒歎恨
- 24 兩目俱翻上 死刀隨業下 意想並悼惶 无能相救濟
- 25 長喘連²⁵ 暫²⁵急 噎²⁵氣喉中乾 死王催伺命 親屬徒相守

(第二紙) T17p746a13~

- 1 諸識皆昏昧 行入險城中 親知咸棄捨 任彼繩牽去
- 2 將至琰²摩²王 隨業而受報 勝因生善道 惡業墮泥梨¹⁵
- 3 明眼无過慧 黑闇不過癡 病不越怨家 大怖无過死
- 4 有生皆必死 造罪苦切身 當勤⁴策⁴二業 恒脩(才十令) 福智
- 5 眷屬皆捨去 財貨任他将 但持自善根 險道充⁵粮⁵食
- 6 譬如路傍樹 暫⁶息非久停 車馬及妻兒 不久皆如是
- 7 譬如群宿鳥 夜聚旦隨飛 死去別親知 乖離亦如是
- 8 唯有佛菩提 是真歸⁸仗⁸處⁸ 依⁸經⁸我⁸略⁸說 智者善應思
- 9 天阿蘇羅藥叉等 來聽法者應至心
- 10 擁護佛法使長存 各各勤行世尊教
- 11 諸有聽徒來至此 或在地上或居空
- 12 常(才十令) 人世起慈心 晝夜自身依法住
- 13 願諸世界常安隱 无邊福智益群生
- 14 所有罪業並消除 遠離衆苦歸圓寂

9 莊采⁹ 莊彩【大】

10 暫¹⁰ 暫【大】 大正藏に校注なし。

11 健達¹¹ 捷闔【大】

12 暫¹² 暫【大】 大正藏に校注なし。

13 噎¹³ 短【大】

14 摩¹⁴ 魔【大】

15 梨¹⁵ 犁【大】

16 策¹⁶ 策【大】 大正藏に校注なし。

17 粮¹⁷ 糧【大】 大正藏に校注なし。

18 暫¹⁸ 暫【大】 大正藏に校注なし。

19 處¹⁹ 處【大】 大正藏に校注なし。

15 恒用戒香塗瑩體 常持定服以資身

16 菩提妙花¹⁶遍莊嚴 隨所住處¹⁷常安樂

17 佛説无常經

18 19 20 21 22 23 24

(後補軸付紙)

昭和九年十月修理

監督 帝室博物館總長杉 榮三郎 (花押)

主任 奈良帝室博物館長心得和田軍一 (花押)

20	花	華	【大】	大正蔵に校注なし。
21	霧	處	【大】	大正蔵に校注なし。